

明るく元気の出る町

平成8年1月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1996

1

NO. 490

謹賀新年



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

東由利まるごと360度フォトコンテスト
優秀賞受賞作品『残雪模様』

(撮影：田中秀雄さん 本荘市)

見 発

オーストリアの芸術 ドイツの美しい町並み

感 動

東由利町
大内町

海外研修リポート



▲アーヘン湖（オーストリア・イエンバッハ）で現地の人と記念撮影する本町研修団

東由利町・大内町合同海外研修が十月二十日から三十日までの十一日間の日程で行われ、オーストリア、ドイツ、フランスの三か国を訪問しました。

今回の研修に参加したのは、両町から十人ずつの二十人で、本町からは女性十人が参加。音楽の都として高名なウィーン（オーストリア）ではクラシックコンサート鑑賞、「わが村を美しくコンテスト」で入賞したアンリー

毎日が感動の連続

副団長
石綿 佳子（大琴）

生まれて初めての海外旅行。オーストリア・ドイツ・フランスのヨーロッパ三か国、どこの国に行っても感動の連続であった。

音楽の都として有名なオーストリアのウィーンは、国内で最も小さい州。路面電車が街の中をめぐり、落ち着いた建造物が立ち並んでいる。マリー・アントワネットの生家である「シェーンブルン宮殿」は豪華そのものの。

ド（ドイツ）では情熱的な村づくりを視察したほか、農家への民泊や交流会も行われた。

女性ならではのソフトな視点から、ヨーロッパの文化、芸術、風光を目の当たりにした参加者は「素晴らしい体験ができ、まさに百聞は一見に如かず。一緒に旅を続けた仲間たちとの友情を今後も大切にしたい」とレポートをまとめていました。

本物のオペラに感動したコンサートは、音楽の都にふさわしく胸をドーンとつかれるような手ごたえがあった。

ビールで知られるドイツのミュンヘンでは、アンリッド村を訪問。街の美しさはもとより、街を愛する人々の気持ちに感動した。

もう少し若い時にこんなところに来ていれば私の人生観も、大きく変わっていたのにーなどと考えるながら、何よりも見知らぬ人同士が、十年來の友のようになれたことを、これからの財産としてもち続けて行きたいと思う。

古きままの姿に感動

小松 孝子（須郷田）

音楽の都・森の都・建築の都とさまざまな顔をもつウィーンは、いたるところに緑の木々

が生い茂り、公園には音楽家たちの記念像が多く見られました。街の中は、どこへ行ってもゴミがなく、国民のモラルの高さがうかがえました。東京のような通勤ラッシュの慌ただしさも見られず、静かな街という印象でした。

ゴシック様式代表の建物で、ウィーンの象徴でもあるシェテファン大寺院は、高さ百三十七メートルあり重圧感に圧倒されてしまいました。また、バロック様式の建物として、ベルヴェデーレ宮殿（夏の離宮）があり、現在オーストリア・ギャラリーとして、クリムトの「接吻」など分離派の絵画などが展示されているそうですが、内部を見学できなかったのが残念でした。とはいえ、街全体がまるで時間が止まったかのような古きままの姿に感動しました。

農業後継者が不足

長谷山恵子(石高)

研修では、オーストリアのザルツブルグでファームステイを体験することができました。宿泊先のオーナーは、農業、民宿、レストランを一緒に経営している方で、農業や生活について聞くことができました。

ほとんどの家が百年以上も



▲インスブルック(オーストリア)の町並み

前に建てたもので、何回も補修して大切にしているのだそうです。農業の後継者はなかなかいなくて、専業農家で生活できる人は少なく、女性は家の仕事をして、男性は会社等に働きに出かけ、休日に農

業をするようで、日本と似ているなと思いました。農家には、お嫁さんもなかなか来ないので、若い人たちが農業から離れているとも聞きました。

また、酪農が主産業のインスブルックのチロルでは、きれいな家並みを見ることができました。家の周りも小屋の周りもびっくりするくらい掃除がいきとどいていて、まるで映画のワンシーンを見ているような気分でした。

都の音楽 ウィーン 優雅な演奏に陶酔 目をみはるゴシック調の建物

中世へタイムスリップ

小野 貞子(下小路)

成田空港から十二時間十五分。ウィーンの空港に到着後バスで移動しながら町並みを見たとき、私の心では受け止めきれないほどの感動と喜びがわいてきました。感動が覚めやらぬ翌朝、自分の目で建物を見ようと氷点下一度の中を散歩。朝の光で見るゴシック調の建造物は、中世の世界へタイムスリップしたようなすばらしさ。まさに三文の徳でした。

言葉では説明しがたい豪華さのシェーンブルン宮殿では、クラシックコンサート鑑賞。



▲シェーンブルン宮殿

トがそのま
ま伝わって
来て、「さ
すがウィー
ン」と感動
させられま
した。

新しい自分発見

植村 暁子(役場)

女性四重奏団が奏でる、バレエ、音楽を含むもので、まさに音楽の都にふさわしいものでした。もし、東田利町で、鑑賞できる機会があったら、心豊かな時間を作れると思います。

音楽は意味が理解できず残念でしたが、ヨーロッパ独特の様式であるロココ調の一室で聞く音楽は、演奏者のハー

研修の一つ、民宿のオーナーである現地人との交流の夕食では、産業の状況や跡継ぎの問題等、それぞれ質問をしていたが、帰ってくる答えはどれも同じような現状であり、



▲ウィーン市内の建物

悩みを抱えていた。しかし、日本人の考えと違うところは、金銭面において積極的であること。生きていくために多くの収入を求め、このことを飾りたてず正直に言葉にしているなど、体裁を気にしないことではないだろうか。

また、現地交流や文化施策について思うことは、伝統と文化をどのようなバランスで生活に盛り込むか、古いものと新しいものをいかに共有していくかではないかと感じた。

この研修を通して、さまざまな職種、年齢の人々と知り合えたこと、今までとは違う自分を発見した。今後はどんな事柄にしろ、自分を見つめ直すよい機会となるように心掛けたいものである。



▲牧歌的な風景が続くドイツ

村民の誇りに感銘

畑山 泉(大琴)

「わが村を美しくコンクール」に入賞した村、ドイツのアンリードは、外観上はごく普通の小さな農村です。この村がコンクールに入賞したのはなぜか?、こんな疑問を持ちながら係の人の説明を受けました。村の結束、自然との調和など五項目の審査基準、建築家、造園家、エンジニアといった専門家等が二年もかけて審査すること。そのうえ、入賞しても特別村に対する利益はなし。「なぜ参加するのか」の問いに対しては「私たちはこの賞を手に入れ

ることによって、一層誇れる村にすることができるようから」との答えでした。これを価値観の違いと言えればそれまでですが、堂々とした口調で彼らがそれを口にしたとき、ヨーロッパの持つ威厳と底力、そしてそれに対するプライドが垣間見られた一瞬でした。アンリードは、一見ごく普通の農村ですが、そこに住む村民たちがそのことを悲観的に考えず、何事にも真剣に取り組んでいるその姿勢に感銘しました。

昔ながらの農村発見

安倍由紀子(八日町)

グリーン・ツーリズム(農村休暇)とは、農村に一切関係のない都会の住民が、農家に民泊し、農家の暮らしを体験する長期滞在型の休暇システムの事で、都会の住民は休暇の間、農家の人が経営する民宿に泊まりながら、農家の人と同じ暮らしを体験するものです。食事も自炊か農家の人と同じ物を食べるかどち



▲ノインバッハシュタイン城(ドイツ)からのながめ

らかで、特別なメニューを作らない、もてなしはしないというシステムです。欧米では

美しい街
アンリード

人間性回復の村づくり 村を変えるのは住民の気持ち

逆境にもすがすがしさ

小松美津子(中通)

アンリードの平均的な農家を訪問したときのこと。輸入増による価格の低迷、後継者問題など農業をとりまく情勢は日本と同じようである。しかし、それらを話す村人の表情には、悲痛より、この逆境

の人々に心から感謝したい。

短い日程での欧州研修であったが、全体を通して、町並みの美しさ、古いものを大切にする守り続ける勇氣、伝統と文化が良くマッチしているという印象を受けた。これらにどう日本人として係わっていかうかという機会を得られたことに感謝したい。

広く普及しており、日本でも最近、農村振興策の一つとして注目を集めているものです。今回の研修の中で、特にドイツのアンリードで感じたことは、農業の近代化が農村の一つの開発の方向だとしたら、昔ながらの農村を残すのも一つの開発の方向ではないかということ。こうしてできた美しい村は、都会の人にとって休暇を過ごすだけでなく、人間性回復の場でもあるのです。こうした村が、日本にももっとあってもいいのではないかと思います。



▶アンリードの町並みを歩
きながら研修

町長日記

悦 幸 部 阿 長 町

いい明日をつくるためにも

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は、年明け早々に阪神・淡路大震災が発生、日本列島全部が揺れ動くのではないかと心配されるほど心配しました。久しぶりの大雪に加えて、雨続き、曇天続きであり、局地的豪雨による災害が発生するなど天候には恵まれなかった年でした。

しかし、稲作は限度数量に及ばなかったものの、こうし

た気象状況の中ではますますの結果ではないかと思えます。関係各位のご努力に敬意を表するものです。十一月一日からは五十三年間も続いた食糧法に変わり新食糧法が施行されるなど、米のこれからが心配された年にもなりました。また、五年に一回の国勢調査の年でもありました。十月一日現在の人口は、五、二五二人との発表があり、五年前に比べて二九五人の減少を見残念ながら由利郡では一番人口の少ない町になってしまいました。この事実をしっかりと

と受け止め、町づくりに努めていかなければなりません。十一月には道の駅「黄桜の里」、黄桜温泉「湯楽里」、お食事処「やしお」が竣工しました。町外の皆さんも含めた交流の拠点となるよう整備した施設であります。特に「湯楽里」では大勢の皆さんが本町初の温泉を楽しんでおり、東由利産の食材も大変好評であります。

わが町の定住人口は国勢調査でも知らされたように、なかなか増えてはいきません。しかし、わが町を訪れる交流人口は私たちの想像以上というのを改めて知らされたものでした。定住人口はもちろん、交流人口をも視野に入れた町づくりを心がけなくてはと強く思ったものです。

「町づくりは人づくり」実感

大庭満寿子(東光苑)



▲アンリードで説明を受ける団員も興味深かった。

アンリードの「わが村を美しくコンクール」の説明の中で、ドイツの建築基準がとて

各村に合った伝統的な基準があり(屋根の色、角度、窓枠等)、大きい都市はそ

の許容範囲が大きく、小さい村ほどそれが小さい。建築する場合、村に合わない家は却下され、常に村独自の発展計画に添った形で進められている。いわば意識的に作られた調和のとれた美しさである。これまでバスの中から見て来た村々は、壁、窓、屋根など、調和を考えて作られていたことが納得できた。

農家の悩みは日本と同じ

小野 信子(役場)

アンリードを視察中、一軒の畜産農家に案内された。十匹の畑には、トウモロコシや小麦を作付けしており、アブリカやモロッコに輸出して

いると言う。乳牛は一頭当たり年間七千頭の牛乳を生産でき、牡牛は体重六百五十キログラムと解体。日本と違って自分の家で食べる物は勝手に解体でき、販売するには許可がいるとのことだった。牛にはビートを与え、二歳半ぐらいまで育てると一頭約三十万円です売れる。農機具は一回買ったら約三十年は使いこなすとのこと。合理性を重視するドイツならではのよき伝統で、農機具貧乏とさえ言われる日本で、ぜひ見習いたいことだと思った。



▲アンリードの畜舎を視察

助金があり、留守にする時などは、家畜のめんどうを見てくるヘルパー制度もあるそう。だ。「畜産の将来は経営規模の拡大いかんによる。大きくないと続かない」との説明に、素人ながらも価格低迷や生産過剰が畜産農家の経営を圧迫しているのは、どこの国も同じなんだということを感じた。

第九回議会定例会は十二月十四日に招集され、全案件を原案どおり可決しました。

十四日の本会議では、阿部幸悦町長の行政報告、六氏の一般質問の後、町長の資産等の公開に関する条例など四議案を原案どおり可決。翌二十日から委員会審議を行い、最終日の十九日、一般会計補正予算など五議案を原案どおり可決し、閉会しました。

「町総合発展基本構想」

3月議事に提出へ

十二月一日現在の出稼ぎ者数は、一九一人で昨年より四十五人減少しています。防火水槽は、補助金の追加

配分があり、八日町、湯出野、横小路に工事を発注、今年度の設置は五基となりました。ホース乾燥塔は、玉来会館前、館合新田、蔵新田、横渡に施工発注し、全分団に設置されることになりました。

平成十七年度を目標年次とする「町総合発展基本構想」は、町民の幅広い意見、要望を取り入れようと五十人委員会等で議論を重ねています。できるだけ早い機会に素案を決定し、三月には議決願いたいと考えています。

黄桜温泉「湯楽里」の十一

月末現在の入湯者数は一万四千人、一日当たり六百九人となっています。

今年の子牛市場価格 昨年比4万円高に

米の出荷状況は、十三万五千四百九十九袋が出荷され、指示数量に比して八九・七割。一等米比率は、九四・七割（あきたこまち九五・四割、ササニシキ九〇・三割）となっています。今年の異常気象等による支援策として、農作物の減収量

が平年収穫量の十割以上で、平年農業総収入の十割以上の被害を受けた農家が県単資金を借入れた場合に、利子補給を行いたいと考えています。同資金の貸付限度額は百五十万円、償還期間は五年以内。また、種子購入費への助成についても調査中です。

十二月の子牛市場は、上場頭数八八頭、内七七頭の取引が成立しました。平均価格は、三十九万一千四百九十四円で十一月と比較して一万四千元高くなっています。平成七年全体では、上場頭数七八二頭、成立頭数七四五頭で、平均価格は昨年より四万円ほど高くなっています。

本年は、融雪出水、異常気象により、町道、河川、林道に被害が発生しました。公共土木施設では、河川災害二六か所、道路災害九か所が、二億四千四百万円で査定決定されました。

県立総合大学誘致については、期成同盟会を設立して本荘由利一市十町が一丸となって運動を進めています。産、学、官一体となって取り組んでおり、運動の一層の盛り上がり而努力して行く所存です。

黄桜温泉「湯楽里」出足好調

11月末現在
入湯者数

一万四千人を記録

行政報告

12月
定例議会



▲行政報告する阿部町長



▲12月15日から19日まで行われた議会

一般質問

小松久徳議員①黄桜温泉「湯楽里」に宿泊施設を②羽後交通両前寺停留所への急行バス停車と待合室設置の働きかけを③町内の老木保護対策を④台山駐車場の有効活用指導を⑤県工事にも町として十分な説明をすべき

町長①次の計画である地場産業センターを優先させながら議論して行きたい②サービスの向上に道の駅停車を働きかけている③樹木医などの報告をもとに守って行きたい④主催者と協議しながら指導して行ければと考える⑤県と十分協議し、進めたい

畑山作喜議員①黄桜温泉「湯楽里」の充実策と健康増進センター②国道側の壁の有効活用を③国道107号町境にシンボル塔の設置を④畜産振興は繁殖主体で⑤家畜市場を本町に誘致する考えは

町長①施設等の問題点を一つひとつ解決して行く。壁活用の問題は、斜面デザインとの

バランス等検討している②同感である。デザイン等を考慮し検討して行きたい③繁殖の基盤をしっかりとしながら、肥育事業にも夢を描きたい④総合施設も念頭に関係団体と協議したい

小松梯之助議員①開発基本構想の基本理念は②新食糧法への基本姿勢は③児童減少による小学校再編の考えは④県道横手東由利線の改良見通しは町長・教育委員会①町政運営の指針であり、全町民が誇りと自信に満ちて定住できる地域づくりを目指している②かなりきつい生産調整という現実もあるが、個々の役割分担を明確化し全力を尽くす③独立校としての存続を念頭に充実した教育環境整備を図りたい

笹本教育長退職



▲笹本信也氏

笹本信也教育長が十二月三十一日付けで教育長を退職されました。

笹本氏は、平成元年三月に東由利

い④トンネルの巻き立て工事、通行不能か所の解消などが行われる予定

高沢忠議員①新食糧法の下で行われる生産調整への対応は②認定農業者以外の農家への対応は③新規就農者の撤退理由は④東由利中のトイレ、飲料水設備の調査、改善を⑤町内の小、中学校のいじめの状況は町長・教育委員会①米の価格維持のためにも、とも補償の充実なども考えたい②認定農業者と兼業農家が一体となった組織づくりも進めていきたい③健康上の問題や意欲面での理由から撤退④本年度調査費を計上済。それに基づき来年度改修したい⑤いじめの報告はある。学校、家庭、地域

中学校長を退職され、平成二年十月から町教育委員に就任、五年十一月から教育長を務められました。

この間、昭和二十四年から退職の経験を生かし、学校週五日制への対応や英語教育の充実、児童生徒の自ら学ぶ意志と実践力の育成などに尽力されました。

とともに全力を尽くしたい

小松賢議員①冷害被災農家の救済策は②グリーンツーリズムの調査検討を

町長①県単資金への利子補給種子更新費の助成などを調査

中②町の総体的な魅力アップを図りながら進めて行きたい

佐藤萬一議員①町、JAが一体となって営農計画の取り組みを②家畜排泄物や堆肥場からの河川への流入防止対策を

③実験農場の見直しを④自治会活動費の増額を

町長①努力して行く②県の委託もあり調査中。先進地等も見ながら対応していきたい③今年度から花きの試験栽培を行っている。栽培技術の普及等を図りたい④見直しを検討したい

教育委員に小笠原氏



小笠原諒治氏

町教育委員に小笠

原諒治氏(六十一歳・

本荘市在住、土場沢

出身)を選任することに同意しました。

可決された 主な議案

町の人口は
5,252人

国勢調査速報

十月一日現在で実施された国勢調査の速報によると、町の総人口は五、二五二人となり、前回(平成二年)の調査と比較して二九五五人、率にして五・三三の減少となりました。

男女別の人口では、男が二、五四一人(前回比一四二人、五・三三の減)、女が二、七一人(前回比一五二人、五・三三の減)となり、世帯数は一、三四〇戸(前回比九戸、〇・七七の減)となっています。

一般会計に一億六千万円追加

平成七年度一般会計に一億五千八百六十二万六千円を追加し、総額を五十一億九千七百八十八万五千円とするもの。主なものは次のとおり。▼県営土地改良事業負担金二千二百一十一万四千円▼農業用施設災害復旧費三千三百五十八万円▼土木施設災害復旧費六千八百四十六万八千円

下水道事業

老方地区、8年度工事着工 完成は平成12年

地区名	完成予定年	供用開始年
上通、中通、下通、横小路、新町の一部	H 9	H 10
新町の一部 処理場建設	9	
館合新田、寺田、湯出野、家ノ下、館西、 下小路	10	11
八日町、宇戸坂と山崎の一部	11	12
久保、須郷田、宇戸坂と山崎の一部	12	13



▲下水道の測量作業

花の一区、 老方中心部から

山紫水明の里の根幹となる「下水道整備」が来年度からいよいよ工事着工となります。町では、下水道等基本整備構想に基づき、農業集落排水事業を中心に整備するため、県と協議を進めて来ました。今年度は、管路の調査測量作業が行われています。

来年度から工事が始まる地域は、老方・館合処理区で、処理計画人口が二、八九〇人と町内で最大規模。管路延長が約二〇㌔に及び、総事業費は三十二億一千八百万円となっています。

平成八年度に、新町、横小路、上通、中通、下通などの老方中心部から工事が始まり、九年には処理場を建設、平成十二年に完成が予定されています(詳細は、上表のとおり)。

事業完了予定は 平成38年

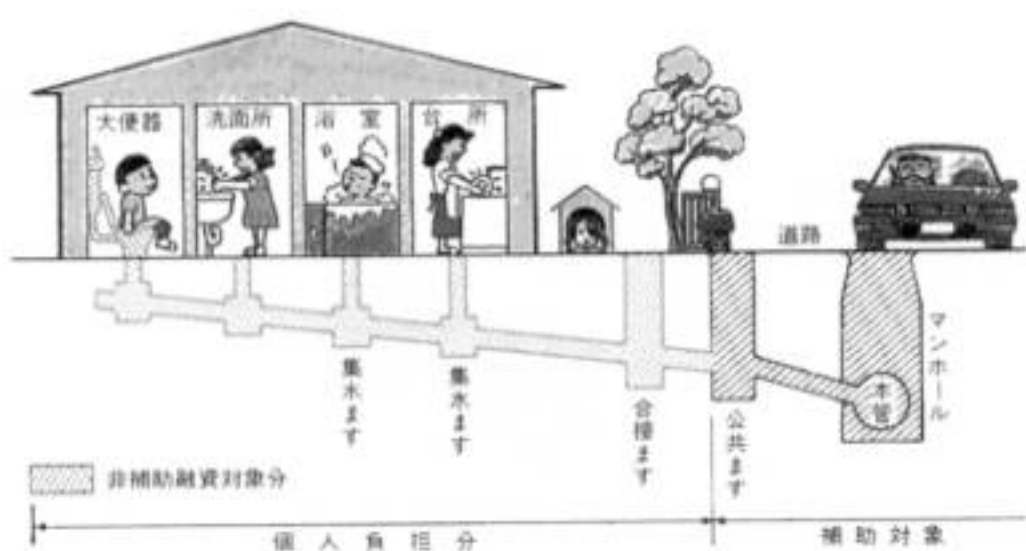
平成十三年からは、蔵・上里・島・宮ノ前処理区、十八年からは大琴処理区と工事が進められる予定で、三十六年には農業集落排水事業による処理区が完成される予定です。あわせて、合併処理浄化槽施設は十三年から整備に取り掛かる予定で、平成三十八年には、町全体に汚水処理施設が整備されます。

町では今後、地域の要望や問題を解決するため、処理区ごとに協議会の設置を計画。「完成後の施設の維持や利用する際の注意、利用料金等の問題点がスムーズに解決できるように配慮して行きたい」としています。

東由利町農業集落排水事業整備スケジュール表

年度	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	H 32	H 33	H 34	H 35	H 36	H 37	H 38
事業年度																																
【老方館合処理区】																																
【蔵・島・宮ノ前処理区】																																
【大琴処理区】																																
【田代処理区】																																
【黒瀬処理区】																																
【内田処理区】																																
【山崎処理区】																																
【角打場処理区】																																
【合併処理浄化槽整備区】																																

小規模集落排水処理施設・合併処理浄化槽設置整備事業



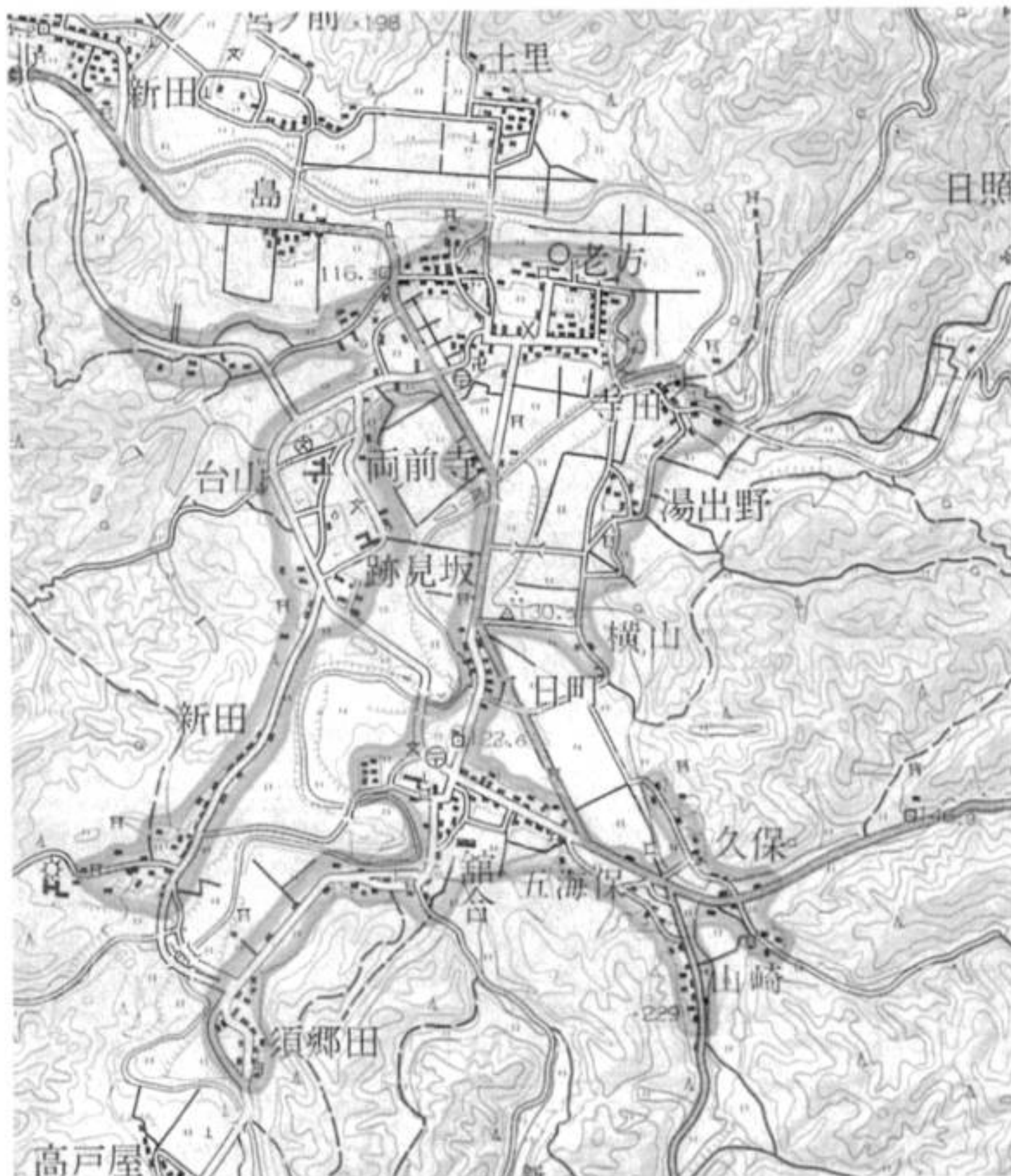
住宅の増改築には 低利で有利な制度

農業集落排水事業の下水道整備で住宅の増改築を要する場合、低利の農業基盤整備資金を借りることができます。

下水道整備では、本管と各家に一個ずつ設置される公共ますまで町が整備。住宅内のトイレ、浴室、台所からの雑

排水を集める集水ますと合接ますは、個人負担となります。

年利三・二五％（平成七年十月現在）の農業基盤整備資金は、施設が利用できるようになってから三年以内の申請で借りることができます。工



▲来年度から下水道工事が始まる老方・館合地区

1月に地区説明会

町では、八年度工事着工となる老方、館合地区を対象にした説明会を一月に行うことにしました。

主な説明内容は、事業の目

日程等は次のとおりです。

日	曜	対象地区	説明会場
8月	月	新町	老方館
9月	火	横小路・上通・中通	〃
10月	水	下通	下通会館
12月	金	寺田・湯出野	寺田会館
16日	火	館合新田	館合新田会館
17日	水	家ノ下・下小路・宇戸坂	玉米会館
18日	木	館西・八日町・五海保	〃
19日	金	久保・山崎	山崎会館
22日	月	須郷田	須郷田会館

※開催時刻・午後6時30分～8時頃まで
※日程変更がある場合は、対象地区の自治会長を通じて周知します。

事内容、貸付限度額は別表のとおり。詳しくは建設課下水道係（☎69-2115）まで。

工事内容	貸付限度額
宅地内排水管敷設工事 屋内排水管敷設工事 集水ます・合接ます	便所、風呂、厨房、洗面所の排水管敷設等に係る全事業費。
便所の更新工事 便所の改造工事	必要額全額。
風呂の更新・改造工事 厨房の更新・改造工事 洗面所の更新・改造工事	排水管敷設工事に直接的に関係する施設について、1箇所当たり次の限度額の範囲で貸付け。 風呂……一〇〇万円 厨房……五〇万円 洗面所……一〇万円

※他の制度資金を利用する場合は、併せて利用することはできません。



民生児童委員に 23人を委嘱

総務に渡辺秋雄氏を再任

民生児童委員委嘱状伝達式
が十二月五日、有鄰館で行わ
れ、厚生大臣、秋田県知事か

らの委嘱状が二十三人の委員
に伝達されました。また、任
期満了で退任された小松長毅
さん（須郷田）と阿部雪子さ
ん（蔵）に感謝状が贈られま
した。

民生児童委員は、地域の困
り事や家庭の悩み事の相談を
はじめ、福祉、年金など幅広
い分野で活動しています。

今回は、これまでの二十五
人体制から、担当自治会を変
更して二十三人で活動を行う
ことにしたものです。

また、伝達式終了後の民生

民生児童委員名簿

(敬称略)

(任期 平成7年12月1日～平成10年11月30日)

自治会名	氏名	担当自治会
向田	横山 広一	智者鶴、向田、泡ノ瀨
黒瀨	佐藤文十郎	黒瀨、地下ノ沢、葎沢
田代	渡辺 秋雄	石高、田代、時雨山
袖山	畠山 清	須郷、大吹川、袖山
下小屋	小野 忠	須郷田、新沢、高戸屋、下小屋
下小路	畑山 裕子	下小路、館合新田
館西	佐藤千鶴子	宇戸坂、館西、八日町
五海保	嶺石 文男	五海保、久保、家ノ下
山崎	小松 良一	山崎、松柴、板戸
祝沢	佐藤 守	祝沢、茂沢
湯出野	小松 稔穂	湯出野、寺田
中通	畠山 龍子	上通、中通、下通
横小路	赤川 菊子	新町、横小路
島	畑山エエ子	島、宮ノ前、上里
蔵新田	石渡 力造	蔵新田、蔵
岩館	阿部タツ子	横渡、岩館
新処	遠藤 眞吉	野田、新処、十二ノ前
小倉	阿部 誠一	桂台、小倉、中ノ沢、高村
黒沢	千葉 康平	黒沢、大台
大琴	大日向イサ	大琴
宿	小野長兵衛	宿、下吹
土場沢	畑山 藤作	土場沢、高屋、沼
舟木	大庭 キヨ	舟木、畑村、杉森、奥ヶ沢

児童委員協議会総会では、役
員改選が行われ、総務に渡辺
秋雄さん（田代）、副総務に

畑山エエ子さん（島）と遠藤
眞吉さん（新処）が再任され
ました。

第4回高橋宏幸賞・童話県コンクール表彰式

『たくさん読書して、素晴らしい人に』

第四回高橋宏幸賞・童話
(感想文・感想画)秋田県コン



▲高橋先生から絵本と色紙のプレゼント

クールの表彰式が十二月二十
四日、有鄰館で行われました。

コンクールには、これまで
で最高の千八百二十二点の応募
がありました。各部門ごと
にメルヘン賞一点、ロマン賞
五点、ファンタジー賞七点を
選定したほか、昨年までの佳
作をレインボー賞に変更して
百五十八点、入選七百十二点
の九百九点を入賞としました。
表彰式では、入賞者一人ひと
りに阿部町長から賞状と記念
品が、高橋宏幸先生から絵

本と直筆の色紙がプレゼント

された後、高橋先生が「本は、
読むことによっていろいろな
事が体験できるし、学ぶこと
も多い。たくさん本を読ん
で、他人への思いやりを忘れ
ない素晴らしい人になってく
ださい」とあいさつしました。

レインボー賞以上の感想画
は、一月十八日から三十日ま
でジョイフルシティ本荘店に
展示されます。主な入賞者は
次のとおりです。(敬称略)
【感想文の部】▼メルヘン賞Ⅱ

佐藤恵(八塩)▼ロマン賞Ⅱ佐
藤泉(同)、多田恵子(尾崎)、小
松大華(八塩)、吉原いずみ(天
王町・追分)、三戸千尋(新山)
▼ファンタジー賞Ⅱ鈴木春香
(新山)、大場望(八塩)、高橋
恵理子(秋田市・築山)、畠山夕
希子(鮎川)、田口純子(北内越)、
菅原智美(同)、佐々木あや(尾
崎)【感想画・小学生の部】▼
メルヘン賞Ⅱ大八木雅之(子
吉)▼ロマン賞Ⅱ横山一彦(八
塩)、大塚渉(築山)、佐藤慎太
郎(鶴舞)、黒木麻衣(新山)、
小野公寛(高瀬)▼ファンタジー
賞Ⅱ石田純一(上郷)、佐々木
友美(小友)、佐藤麻美(象潟)、
遠藤三香子(高瀬)、遠藤勇樹

(同)、真坂美香(新山)、成沢
勇士(平沢)【同・幼児の部】
▼メルヘン賞Ⅱ土屋健介(秋
田市・秋田経法大附属さくら
幼稚園)▼ロマン賞Ⅱ金森晃
平(道川保育園)、田村一茂
(西仙北町・西仙ひまわり幼稚
園)、板垣泰弘(石沢保育園)、
赤川聡和子(西仙ひまわり幼
稚園)菅原達士(亀田保育園)
▼ファンタジー賞Ⅱ菅生美幸
(亀田保育園)、吉岡李英子
(秋田経法大附属さくら幼稚
園)、佐藤将来(西仙ひまわり
幼稚園)、村井祐太(道川保育
園)、井島沙耶佳(石沢保育園)、
畠山達也(同)、金平真緒(道
川保育園)

黄桜温泉
湯楽里



株式会社
黄桜の里

お食事処
やしお

『暖まる湯っこだな』

利用者から好評



▲施設の前にはクリスマスツリーが飾られ、訪れる人を楽しませました

十一月九日にオープンした黄桜温泉「湯楽里」は、同月末現在の入浴者数が一万四千余人で、お食事処「やしお」、「おやつ」の駅を含めた全体の延入場者は約三万人。町内の方とはもとより、近隣市町村や県外などのお客さんでにぎわっています。

県内トップクラスの泉質を誇る「湯楽里」は、動脈硬化症やきりきず、肩こりや腰痛に効果があると言われています。入浴した方からは「とても暖まる温泉。」

『やしお』
お膳
料理

は懐石料理風

これからの寒い季節に最適」と好評を得ています。一方、食事、宴会を担当する「やしお」では、忘、新年会シーズンのため、忙しい毎日。社員がフル稼働で頑張っています。

レストランメニューの中で

用も可能なことから、休憩する方に喜ばれています。

また、宴会メニューでは、フランス鴨ナベが「あつさりして品のよい味」と上々の評判。お膳料理は和食中心の懐石料理風で出される。ところも特徴の一つです。

二部屋あるカラオケルームは、最新鋭の通信カラオケが備わっています。若者を中心に利用されています。

一番人気があるのが「フランス鴨ラーメン」で、十一月末現在で二千二百二十二食、次いでアカシヤ入りテンプラうどんとそばが一千六百九十五食、豚生姜焼き定食が一千二食となっています。レストランでの食事のほか個室での利用

株式会社黄桜の里では「二月の土、日曜日は新年会の予約が入っているが、二月は余裕があるので、多くの方に利用していただきたい」と話しています。

清潔でいい気持ち



菅原 マサヨさん
(本荘市)

友達と3人で初めて遊びに来ました。どこを見ても新しく、清潔感があって気持ちいい施設。また来てみたいです。

老人クラブで利用



斎藤 ノブさん
(羽後町)

老人クラブの仲間三十一人で来しました。上到来からだ二十分弱で来ることができとても便利。羽後町にも早くできるといいです。

大きくて豪華な建物



佐藤 孝次さん
(羽後町)

国道107号を通るたび、一度寄ってみたいと思っていた。大きくて、豪華な建物にびっくり。今日は一日のんびりしていきます。

温泉は何より楽しみ



横山 治三郎さん
(泡ノ瀧)

以前は町外の温泉まで行っていましたが、地元の温泉ができてからは何より楽しみで、十回以上も来ています。風呂はとても暖まるし、食事もおいしいです。

おいしかったラーメン



熊谷 蘭ちゃん
(由利町)

お風呂ができてから何回も来てるんだよ。お父さんとお姉さんと食べたフランス鴨ラーメンがとってもおいしかったです。また来るからね。

歌や朗読に一喜一憂

山谷さんの文化講演会



▲講演する山谷初男さん

たい”との思
いから上京。
絵の専門学校
と予備校通い
の生活の中で
ふと見に行っ

町文化講演会
が十二月十六日、
有鄰館で行われ、
約二百人が聴講
しました。
講師はテレビ、
舞台等でおなじ
みの俳優の山谷

初男さん。
「役者が演じる心」と題し
た講演で山谷さんは、舞台いっ
ぱいを使った歌や朗読を交え
ながら生い立ちから役者とし
て成長するまでを秋田弁で紹
介しました。
「何も考えず、東京に行き

た芝居がきっかけで役者の道
へ。二、三年はセリフのない
エキストラなどの役が続いた」
などの苦労話や「赤坂の料亭
と沖縄の墓地を交互に入れ替
える舞台では裏方を担当。赤
坂の料亭のステージに墓地を
一つ忘れて来たこともあった」
とした舞台裏方での失敗談に
会場内は爆笑のうず。
また、「たまに角館に帰っ
てくると母から、たまには背
広でも着て、きちんとした格
好で帰って来い」と言われた

山谷初男さんⅡ昭和八年、
角館町生まれ。現在、舞
プロモーションに所属し
テレビ、舞台、映画など
に出演。横手市の秋田ふ
るさと村の村長も務める。

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS



▲40人が出席した祈願祭

せない。作業時
間が不規則で大
変とは思いますが、
健康に気をつけ
て頑張ってはし
い」と作業員を
励ましていまし
た。

県コンクール高校生部門は、
十一高校で開かれた「校内コ
ンクール」(応募点数二、四八
一点)の入賞作品などで審査
が行われ、最優秀賞一点、優
秀二点が選ばれました。



▲おむつたみのボランティア

黄桜温泉「湯楽里」で行われ
ました。
フェスティバルでは先着四
百人の子供たちにクリスマス
プレゼントが配られたほか、
やきとりやたいやきなどの出
店が登場し、たくさんの子供
たちでにぎわいました。



▲100人余りが出席した楽しみ会

盛大な拍
手が送ら
れていま
した。

『みんなのために頑張っ』

除雪の安全を祈願

除雪作業の無事故を祈願す
る除雪機械安全祈願祭が十二
月八日、役場車庫で行われ、関
係者約四十人が出席しました。

安全祈願祭では、神事の後、

阿部幸悦町長が「積雪量の多
い本町では、快適な生活環境
確保のため、除雪作業は欠か

やちよさんに最優秀賞

読書感想文県コンクール



嶽石やちよさん

第十七回「文庫による読書
感想文コンクール・県コンクー
ル」で嶽石やちよさん(五海
保・由利高三年)の「変身」を
読んで」の感想文が高校生部
門で最優秀賞を受賞しました。

寿大学がボランティア

東光苑入居者と交流

寿大学の学生百人余りが十
二月十六日、東光苑を訪れ、ボ
ランティア活動を行いました。
東光苑を訪れた学生たちは、
自慢の歌や踊りを披露した後、
二班に別れて、おむつたみ
や話し相手などを行いました。

今年は湯楽里が舞台

第5回サンタフェスタ



▲大にぎわいのサンタフェスティバル

弁天島ほ
たるの会
(高橋賢太
郎会長)の
第五回サン
タフェステ
ィバルが十二
月二十三日

歌や踊りに盛大な拍手

みどり保育園楽しみ会

みどり保育園の楽しみ会が
十二月三日、同園の遊戯室で
行われ、家族など百人余りが
観覧しました。

「ひまわり」、「すみれ」、そ
して「たんぽぽとちゅうりつ
ぷ」の三組が、歌、合奏、ゆ
うぎ、劇を発表、会場からは

町の宝もの

45

低地のブナ（土場沢）

写真のブナは、土場沢から杉森に通ずる道路端にあつて、目通りの幹まわりが三・〇五メートル、樹高約十八メートル、推定樹齢は所有者の話から二百年以上と思われます。海拔百五十メートルの低地にあつて樹皮の凹凸や枝の瘤は見事です。地元では「ブナの木の神」と呼び、根元に高さ七十センチの自然石が祀られています。

今年は実が豊富で路上にいっぱい落ちていました。実は食べ



られ、灯油・食用油・あいのものゴマ代用、樹皮は染料として重宝がられました。かつて道路下にも一本あつて対をなしていたのが、戦後伐採されたことです。

ブナに関しては、秋田・青森県境にまたがる白神山地の原生林が世界文化遺産として注目を集めています。

（文・畑山昭二）

業り林だ より木材住宅の耐震性

阪神・淡路大震災から一年になろうとしています。国の機関である森林総合研究所では木材住宅の地震被害を調査しました。その調査報告の一部を紹介しましょう。

新聞紙上で報告されたとおり、最も被害が大きかったのは、戦前から戦後にかけて建てられた在来軸組工法住宅で、一階部分あるいは二階部分とも完全に倒壊しました。これらの建物の特

徴は、屋根は日本瓦ぶき、壁は土塗壁で筋違いがなく、あつてもごく少数。それに柱や土台、梁などの軸材間の接合には殆ど金物が用いられていないことです。被害が比較的少なかったのは、建築基準法が改正された昭和五十六年以降の耐震壁の多い新耐震の在来軸組工法住宅でした。筋違いや耐震壁による耐震構造を正しく理解して設計された在来軸組工法は、大地震でも無傷である耐震性が証明されました。木造住宅をより科学的に理解し施工してほしいものです。（町林業懇話会長 佐藤恒悦）

永久歯への生え変わり期を大切に

東由利中学校でむし歯が一本もない生徒は二十四名。昨年より十名多い。これらの生徒の歯科検診票を調べてみると、次の二点がわかった。
①乳歯から永久歯に生え変わった小五、小六のころからむし歯がゼロになっている。

②乳歯のむし歯の治療後は再治療の必要のないまま永久歯に生え変わった。そこで、これらの生徒と保護者に対してアンケートを実施してみたら、次のような結果だった。

▼特に意識した予防はしていない
▼歯磨きに気をつけて

歯のけんこう

いる。特に夜の歯磨きは丁寧に行っている。▼食べ物に気をつけ、なるべく甘いものはとらないようにしている。
最初の回答からは、歯磨きの丈夫さがあつたことも考えられるが、歯磨きの習慣化、食べ物への配慮が効果を上げていることがうかがえる。

現在、永久歯にむし歯がある場合は、治療する以外に対応策はないが、乳歯のむし歯だけの場合は、生え変わりによって、今後全て健康な歯で生活できる可能性がある。

（東由利中・佐々木かつ子先生）

※一歳六カ月児健診で虫歯のない子は全部で十八人。今月号と来月号で紹介します。

虫歯なんてないもん。

1歳6カ月児健診より

（ ）内は保護者



佐藤美香ちゃん
笹沢（幸輝さん）



伊東あおいちゃん
八日町（嘉規さん）



伊東あおいちゃん
蔵新田（寿栄さん）



長谷山梨奈ちゃん
田代（冬樹さん）



長谷山梨奈ちゃん
田代（冬樹さん）



小野夏実ちゃん
宿（智行さん）



小野夏実ちゃん
宿（智行さん）



小野夏実ちゃん
宿（智行さん）



小野夏実ちゃん
宿（智行さん）

『美しい自然は すばらしい』

平成七年度環境教育シンポジウムが十一月二十七日、健康増進センターで行われ、町内の小学五、六年生、東由利中の全校生徒など約四百人が参加しました。

水資源確保に全力を

小学校と東由利中の代表が「水質調査」や「動植物の

分布」などを発表、森林の大切さや水の汚染度など具体的な数値を上げ、自然の素晴らしさを訴えました。

また、町民を代表して八嶋シゲさんが「水がうたう町に」と題して提言。保全、保護を考えない開発を見直し、水資源確保のため行政でも全力で取り組むよう提言しました。

その後、本荘市社会教育指導員の木谷豊四氏が「東由利町の人と自然の教え」と題して講演。町功労者で文学博士の故佐藤政治氏（新処出身）の功績を讃えるとともに、「皆さんの先輩には素晴らしい人が多い。自然環境だけでなく恵まれた人環境を生かして素晴らしい人間になってほしい」と小、中学生を激励しました。

▲400人が参加した環境教育シンポジウム

『鴨とワインはピッタリだ』

鴨料理とワインに舌鼓を打ったパーティー



フランス鴨ワインパーティー

フランス鴨生産組合（長谷山憲二代表）主催の「フランス鴨ワインパーティー」が十一月二十五日、有鄰館で行われ、約百五十人が鴨とワインの絶妙の組み合わせを楽しみました。

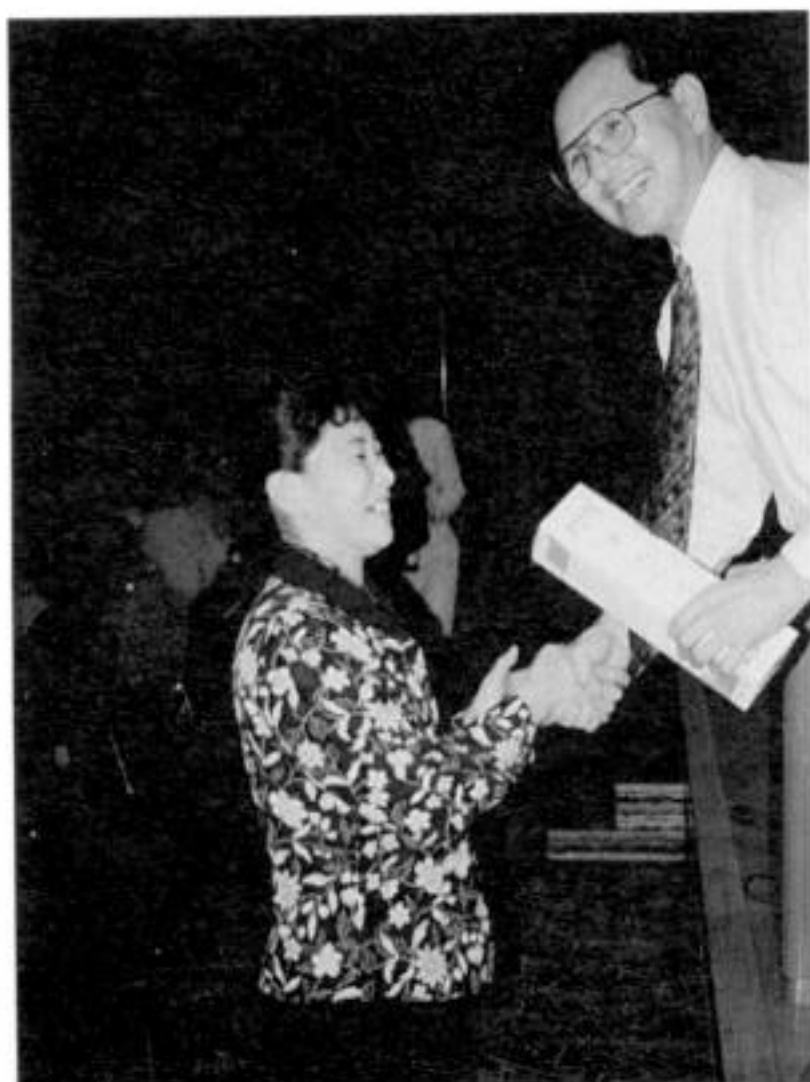
パーティーは、大森ワインパーティーでフランス鴨料理が使われるようになったことから、感謝の意味も込めて昨年度大森町を招待し初開催。今年は、大内町の特産品も取り入れ、三町交流の意味合いも込めて行われました。

パーティーでは、フランス鴨のくんせい、ソーセージ、さしみなどおなじみの商品のほか、鴨肉の寿司や

鴨汁など「フランス鴨のフルコース」が用意されました。

最初に長谷山代表が「フランス鴨が東由利の特産品として定着できたのも皆さんのおかげ。心行くまで楽しんでほしい」とあいさつ。また、阿部幸悦町長が「オープン間もない『湯楽里』ではフランス鴨が好調な売れ行きを見せており、町の特産品として高い評価を得ている。大森町、大内町からの協力を得ているこのパーティーがますます盛況になることを期待したい」と生産組合を激励したほか、阿部勝行大森町長、佐々木秀綱大内町長が祝辞を述べました。

その後は、鴨肉やワインのほか、大琴の佐々木精人さんのバラやJA東由利婦人部のフランス鴨ナベセットなどが抽選で当たる「お楽しみ抽選会」が行われ、会場内は終始和やかな雰囲気になりました。



▲「やったー」。プレゼントが当たった人はみんなうれしそう

やまみどり、みず澄む里、いつまでも

フランス鴨ワインパーティー



わが家の
アイドル☆

大吹川・畠山将太ちゃん
(H6・12・2日生まれ)
お父さん・明 弘さん
お母さん・小百合さん

「みかんなどの果物が大好きで、大きな病気もせず元気に育っています。何より元気が一番」とおばあさんのスミさん。

大日向昌幸さん
(19歳)



株式会社黄桜の里勤務
血液型・B型

「家を離れて就職する事は考えなかった。都会へ行っても一人で生活する自信がなくて…」と笑いながら話す昌幸さん。本町初の第三セクター、株式会社黄桜の里で料理部門を担当しています。柴田料理長が作った宴会料理の盛り付け、レストランやおやつの駅での調理などが主な仕事。午前九時から午後一時ころまでが最も忙しく、忘

新年会の予約が多いこの時期は、残業続きの毎日を過ごしています。「仕事が次から次と入ってきて、時間が速く過ぎる感じ。レストランではフランス鴨ラーメンやうどん、そばが好評。一月はレストランの食事が自分の担当なので、ぜひ食べに来てほしい」意欲的な昌幸さん。仕事と休憩をはっきりし、やる気はやる料理人を目指して頑張っています。

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 1月から戸籍の手数料が変わります。戸籍抄本は1通いくらになるでしょう？

①400円 ②450円 ③500円

(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出してください。▼宛先／東由利町老方 東由利町役場広報係宛▼締切／1月15日(当日消印有効)▼正解者の中から抽選で5人の方に写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は①大琴小でした。応募してくれた6人が全員正解。佐々木賢さん(大琴)、佐々木浩平くん(大琴)、伊賀和子さん(浜松市)、大庭兵太くん(大琴)、浅田イネ子さん(舟木)、畑山文子さん(江戸川区)に写真盾をプレゼントしました。応募ありがとうございました。たくさんの応募まってま〜す。

バスケットクラブに所属している彼にとって、毎週水曜日の練習日が楽しみの一つ。「気の合った仲間たちとバスケットボールをしているときに最高の気分。気分転換にもってこい」と話すスポーツマンの昌幸さんでした。

次は、向田の横山慶和さんにリレーします。

東由利の文芸

せせらぎ句会(十二月句会)

末っ子の一封届く年の暮
赤ペンの増えて家計簿の年暮るる
月冴えて寒林透る薬師堂
お手玉で遊ぶわらべや冬うらら
厨風おとして軽き古暦
畑作業始末の合わせぬ小六月
上げ底の土産もありて年用意
一茶忌や雀あつまる吊し柿
子に頼る齢となりしチャンチャンコ

小松 徳蔵(湯出野)
佐藤 正義(湯出野)
菊地 常作(湯出野)
嶽石 レイ(五海保)
小松 女沙(下小路)
小松 順之助(中通)
嵯峨 義之(中通)
小松 忠正(下通)
小野 石路子(上里)

ゴミ焼場煙たやさず年暮るる
冬ざれば小さき窓を思案して
追うごとく追われるごとく十二月
うぶすな神先づ雪囲ひ部落衆
つがい鳥交互に来てゐる木守柿
明けの春家族相寄り湯のほてり
棚おろし終えて年の瀬かみしめる
ひも解いて語る町史や炉火あかり
木洩日の水子に捧ぐ野菊かな
睦み合う三世代屠蘇の味
稲荷みち銀杏落葉を踏みながら
終電車どっと吐き出す街師走

工藤 武雄(山崎)
小松慶治郎(高戸屋)
大庭喜右エ門(舟木)
高橋民治郎(袖山)
遠藤トミ子(小倉)
高橋ヒデ子(横渡)
阿部 俊子(横渡)
阿部 澄子(蔵)
阿部 ナミ(蔵)
小野 貞子(蔵新田)
小笠原トミ(蔵新田)
小笠原亮子(蔵新田)

さとうさやかちゃん（中通）



永慶保育園

さやか



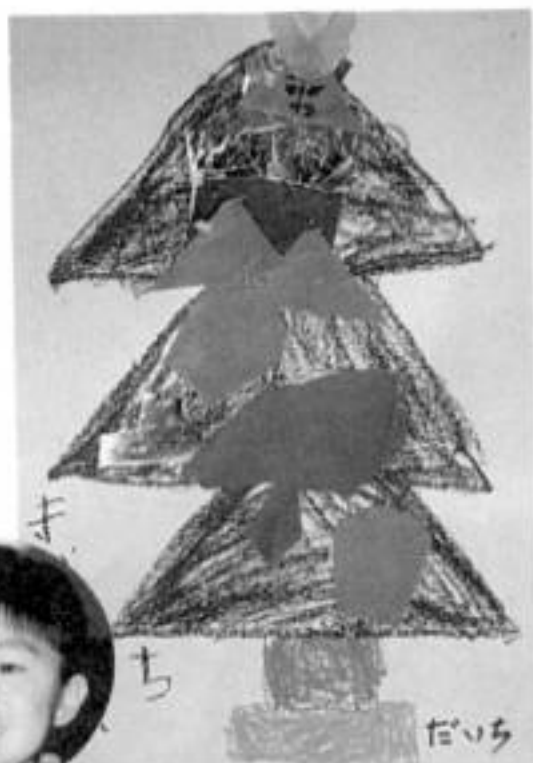
はたけやまあずさちゃん（茂沢）

あずさ

クリスマスツリー

ぼくの絵 わたしの絵

あべふみやくん（大琴）



きじまだいちくん（大台）



やま 塩 かわ 瀬 人と自然の自然に学ぶ

東由利中
②

川の水質調査 集落付近で目立つ汚染



▲川の水質調査結果

番号	地名	pH	COD
1	松沢	7.0	0
2	〃	—	1
3	館合	7.2	3～4
4	横山	7.7	0
5	寺田	7.1	2
6	〃	6.7	0
7	〃	—	5
8	上里	7.3	—
9	〃	7.2	0
10	島	7.0	0
11	蔵新田	6.9	10
12	横渡	7.3	—
13	大琴	6.9	0
14	沼	7.3	0

東由利中生徒が行った川の水質調査によると、全体としてはきれいな水質であるものの大集落付近では汚れが目立つことが分かりました。

この水質調査は、町内の十四ポイントで行われたもので、調査項目は酸性かアルカリ性かを判断するpH（水素イオン濃度）や水の汚染度の目安となるCOD（化学的酸素要求量）など五つ。この結果、pHは、六・七から七・七の範囲で推移しており、

ほぼ中性の水質。また、CODは、ほとんどでゼロを記録しているものの館合で三・四、寺田で二・五、蔵新田で十と大集落で値が大きくなっている結果になりました。

この調査を担当した佐藤智幸先生は「一概には言えないが、洗剤や土壌などの影響で水質が変わることが多い。今後も継続して調査して行けばさらにはつきりするのでは」と話しています。主な調査結果は次表のとおり。

ハイスクール○日記

全県高校
総合美術展
写真部門に
参加して



下郷分校写真部
2年・阿部忍くん

僕が写真部で活動を始めて、初めての展覧会が、昨年十一月に秋田市で行われた全県高校総合美術展でした。初めての出品なので、どんな作品を出したらいいのかとても悩みました。けれども、あまり難しく考えず、身近なものから題材を選ぶことにしました。いろいろと歩き回って写真を撮ってきた中で、気に入ったのが何枚かの友達の写真でした。

しかし、何枚か撮ったその写真も、本当に納得のいくものではありませんでした。構図がよくてもピントがしっかり合っていないかったり、現像の仕方等が悪かったり。悪戦苦闘しながら、夜遅くまで残って自分のイメージに近づけるよう頑張りました。当日、会場にはたくさんの高校生が来ていました。持ち込まれた写真を見て、他の学校の技術の高さに驚きました。また、同じものでもいろいろな捉え方があるということに感心しました。僕の作品は、苦勞した割には全く話になりませんでした。が、今回感じ学んだことを、ぜひ次回を生かせるように、来年のこの展覧会では何とか賞に入れるように頑張りたいと思います。

1月→データ東由利

〈11/1～11/30〉

人口 () は前月比

■男	2,674人 (△6)
■女	2,810人 (△6)
■計	5,484人 (△12)
■世帯数	1,408戸 (△3)

() は1月からの累計

・出生	2人(32)	・死亡	3人(56)
・転入	4人(87)	・転出	15人(106)

■火災出動	2件(3)
■救急出動	11件(110)
■交通事故	2件(19)
・死亡	0人(2)
・傷者	4人(23)
■飲酒運転	0人(2)
■酒気帯び	2人(10)

カレンダー 1月の行事

- 5 蔵地区座談会(大蔵館9:30～)
- 住吉地区座談会(八塩館13:30～)
- 6 消防出初式(げんき館10:00～)
- 7 老方地区座談会(老方館13:30～)
- 8 玉米地区座談会(玉米会館9:30～)
- 8 法内地区座談会(克雪センター13:30～)
- 9 袖山地区座談会(袖山館13:30～)
- 21 宿地区座談会(高瀬館13:30～)
- 30 健康大学(有鄰館13:00～)

※1月10日は110番の日。事件、事故はためらわず110番

東由利

郷土の野草

No. 131

イワカガミと同じ仲間、比較的深い山の落葉樹林内の斜面などに生える多年草です。

根生葉は長い葉柄があり、葉はイワカガミより大きく三～八センチあります。葉身は波をうったようにゆがみ、厚くてかたく、少し光沢があります。五～六月、三～十センチの花茎をのびし、淡紅色の美花を横向きに一個つけます。花は漏斗状で鐘形、花弁の先が写真のように細かく裂けます。和名は岩山の上に生えて、葉の形がウチワに似ているというのでいわれます。

イワウチワ

(イワウメ科)

文・写真 小松忠正

戸籍の窓口

(11/21～12/20届出)

●お誕生おめでとう

12/20 斎藤 真美ちゃん(真一) 石高

12/6 高橋 鈴香ちゃん(孝子) 新町

●ご結婚おめでとう

12/20 千葉 長一郎さん(新町) 佐々木 結香さん(大内町)

●ごめい福をお祈りいたします

12/26 佐藤義治郎さん(67・アイ・夫) 新町

12/18 大塚ヤエノさん(87・昭一・母) 泡ノ瀨

カラー スナッツ

銀河トンネル



開通して1年が経過した銀河トンネル。これからの季節はトンネルの出入り口が滑りやすくなります。事故に注意しましょう。(撮影・広報担当)

まごころ

町社会福祉協議会に、遠藤重和さん(本荘市)、大沼武且さん(蔵新田)からご芳志が、玉米カラオケ同好会からチャリティバザーの収益金が届けられました。

広報送付の謝礼として、小野京子さん(西目町在住、下吹出身)、小松春代さん(秋田市在住、大琴出身)、佐藤哲子さん(四日市市在住、中通出身)、阿部フミさん(本荘市在住、杉森出身)、皆川ユキ子さん(秋田市在住、大琴出身)、佐々木ケン子さん(同・同)、伊藤一子さん(西目町在住、宮ノ前出身)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

ほっと ひといき

今年最初の広報をお届けします。今年もいろいろお世話になると思います。よろしく願います。

「笑う門には福きたる」ということわざがあります。そういえば数年前の上司から「悲しくなったら大声をあげて笑え」と言われたことがありました。言われた通り、気分が落ち込んでいた時、何にも考えないで「はっはっは」と大声で笑ってみるとずいぶん気分も変わるもの。みなさんも実行してみてくださいいかがですか。

何はともあれ、今年は十二支トップの子年。昨年はいろいろ暗いことが多い年でしたが、今年は気分一新して、いい年になりますように。